

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	基本的人権を尊重する社会の確立		課(室)名	人権啓発課
	施策	人権尊重意識の普及・高揚		電話番号	087-839-2292
	基本事業	人権啓発活動拠点の機能充実		事業実施主体	市
	事務事業	隣保館・児童館管理運営事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	文化センター（隣保館）・児童館は、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権問題の解決のための各種事業を行うとともに、健全な遊び等を通して、児童の健康を増進するなど、児童の健全育成を図るため、次の事業を行う。 ・社会調査、相談事業、啓発・広報活動事業、地域交流事業、子ども学級等 ・施設の修繕・改修等		
29年度概要	文化センター（隣保館）・児童館は、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権問題の解決のための各種事業を行うとともに、健全な遊び等を通して、児童の健康を増進するなど、児童の健全育成を図るため、次の事業を行う。 ・社会調査、相談事業、啓発・広報活動事業、地域交流事業、子ども学級等 ・施設の修繕・改修等		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	地域住民
意図（どのような状態にしたいか）	1 文化センター（隣保館）が、地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となるよう各種事業を総合的に行う。 2 児童の健康を増進し、情操を豊かにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
各種事業実施回数	回			3,512	6,250	6,250
児童館開館日数	日			540	535	545

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
隣保館利用者数	人	目標値			63,227	59,275	68,800
		実績値			53,608		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 活動の中には、屋外（運動場等）を利用するもの（夏祭り他）もあり、実施時の天候に左右される面があることから、目標値を下回った。 (目標達成度)					(達成度) 84.8% 29点		
児童館利用者数	人	目標値			7,544	7,544	8,200
		実績値			6,977		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 活動の多くが、屋外（運動場等）を利用するもの（スポーツ競技等）であり、実施時の天候に左右される面があることから、目標値を下回った。 (目標達成度)					(達成度) 92.5% 32点		

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]	222,210	348,468	193,177	193,177
（事業費）	[円]	61,304	181,109	37,727	37,727
（職員人件費）	[円]	160,906	167,359	155,450	155,450

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

現在、平成 33 年度を最終年度とする各施設の大規模改修を実施中であり、利用制限があることから、利用者数は減少傾向にある。改修工事完了後は利用者の要望を把握し各種事業の見直しを行う。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

- ・各種事業の見直しなどにより、より多くの人に来館してもらえるようにする。
- ・文化センター（隣保館）・児童館改修計画に基づき、各館の改修の円滑な実施に努める。